

有識者会議の趣旨、検討の方向性及びスケジュール（予定）について

1. 有識者会議の名称

これからの市立高等学校のあり方に関する有識者会議

2. 趣旨

文部科学省の「普通科改革」や、今後予想される更なる少子化及びグローバル化の進展をふまえて、これから市立高等学校が育成すべき人材とそのために必要な教育内容など今後の市立高等学校のあり方の検討を行うにあたり、専門的な見地から幅広い意見を求めることを目的として、これからの市立高等学校のあり方に関する有識者会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

3. 検討の方向性

- ・グローバル化及び地域協働による課題解決など、神戸の将来を担う人材の育成
- ・上記を実現するための教育内容、カリキュラムの編成等

4. スケジュール（予定）

- ・令和6年1月～6月頃 全4～5回程度開催

市立高校の概要ならびに
今後のあり方における検討の視点について



議題 1 市立高校（全日制）の現状

議題 2 高校を取り巻く状況

議題 3 検討の視点



議題 1 市立高校（全日制）の現状

- I. 設置場所
- II. 設置学科・募集定員
- III. 各校概要



I . 設置場所

全日制 5校

- ・六甲アイランド高校
- ・科学技術高校
- ・葺合高校
- ・神港橘高校
- ・須磨翔風高校

定時制 3校

- ・神戸工科高校
- ・摩耶兵庫高校
- ・楠高校



Ⅱ . 設置学科・募集定員

高校名	設置学科	募集定員
六甲アイランド	普通科（単位制）	360人（9学級）
科学技術	機械工学科 電気情報工学科 都市工学科 科学工学科	360人（9学級）
葺合	普通科 国際科	360人（9学級）
神港橘	みらい商学科	320人（8学級）
須磨翔風	総合学科（単位制）	280人（7学級）

Ⅲ．各校概要

- 1．六甲アイランド高校
- 2．科学技術高校
- 3．葺合高校
- 4．神港橘高校
- 5．須磨翔風高校

1. 六甲アイランド高校①

●沿革

- 1998年 神戸商業高校と赤塚山高校を
再編・統合し開校（普通科総合選択制）
- 2005年 普通科単位制へ移行

●設置学科

普通科（単位制）

●募集定員

360人（9学級）

●在籍生徒数（2023年4月1日現在）

	1年次	2年次	3年次	合計
生徒数	361	349	349	1,059
学級数	9	9	9	27

男女別生徒数

男子：463人

女子：596人

●学校の規模・環境

敷地面積： 45,975㎡

延べ床面積： 20,174㎡

築年数： 26年（1998年3月完成）

校舎： 3階建て又は5階建ての校舎が

4号館まであり、広々としている

環境：

- ・校舎敷地が綺麗で規模も大きく、
駅前での利便性が高い

- ・全室エアコン完備（市立高校共通）

その他施設：多目的ルーム、屋上プール、
トレーニングルーム、個人レッスン
室（音楽コース）や大講義室等

1. 六甲アイランド高校②

●スクール・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

- ・「自彊」の人 … 豊かな個性・感性を生かし、高い思考力をもとに自立して行動できる生徒
- ・「和敬」の人 … 社会・地域と積極的に関わる中で、他者・異文化に対する理解を深め、共に生きることのできる生徒
- ・「剛毅」の人 … 強い意志と体力で、自らの進路や社会の未来を切り拓くことのできる生徒

○カリキュラム・ポリシー

- ・自らの進路や興味関心に応じて選択した科目や「系」「コース」での学びを通じて、確かな学力を身につけるとともに、主体性を養います。新学習指導要領を意識した授業づくり、探究活動の深化、学習評価の充実による授業改善、ICT活用による新たな学びの展開を推進します。
- ・課題研究をはじめとする学習活動によって、言語による理解力と表現力を高め、他者や異文化を認め合い、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。
- ・学習活動、学校行事、生徒会活動、部活動等、すべての学校教育活動を通して、人間力、規範意識を高めていきます。
- ・課題研究活動や行事で、地域の市民、企業、施設、学校等と積極的に関わり、協働する態度を育てます。
- ・科学技術系人材の育成を狙いとし、グローバルな視点で物事をとらえ、世界で活躍できる力を育てます。

○アドミッション・ポリシー

- ・本校の教育方針を理解し、知性を身につけるために学ぶ意欲のある生徒
- ・多様な価値観を認め、他者と協働できる生徒
- ・学校教育活動全般に能動的に取り組み、粘り強く努力できる生徒

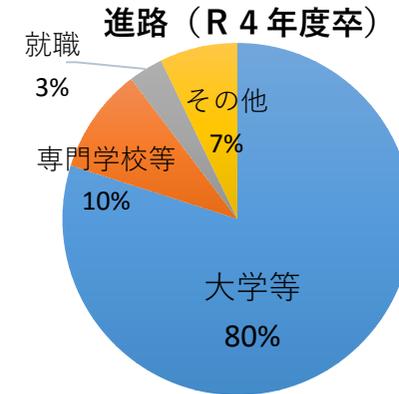
1. 六甲アイランド高校③

特色

- ・普通科単位制
- ・興味関心や進路希望に応じた専門教育
- ・より深い探究活動の実践及び理数教育の推進

特徴的な取組

- ・第3期スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校
- ・特色科目「神戸学」



カリキュラムの特長

- ・学習分野を6つの系・4つのコースに編成し、2年次からは希望進路に合わせて各コースで専門性の高い科目や約130の選択科目の中から必要な科目を選択できる。

※人文社会系、総合科学系、芸術系（音楽コース、美術・デザインコース）、ビジネス系、情報科学系、人間科学系（生活福祉コース、スポーツコース）

- ・前身の神戸商業高校の流れを汲み、商業系資格取得にも強い。（旧第1学区内に商業科なし）
- ・多数の大学と連携し、大学の講義受講や特別推薦入試を実施。

進路実績（学校案内より）

- ・三重大、和歌山大、公立鳥取環境大、京都教育大、兵庫県立大、大阪教育大、高知大、関西学院大、関西大、近畿大、兵庫医科大、同志社大、立命館大、大阪芸術大 ほか
- ・関西美容専門学校、神戸ベルエール美容専門学校、上田安子服飾専門学校 ほか

2. 科学技術高校①

●沿革

2004年 神戸工業高校、御影工業高校（全日制）を再編統合し、新総合型工業高校として開校

●設置学科

機械工学科、電気情報工学科、都市工学科、科学工学科

●募集定員

機械工学科 120人 他3学科 各80人

●在籍生徒数（2023年4月1日現在）

	1学年	2学年	3学年	合計
生徒数	360	352	349	1,061
学級数	9	9	9	27

男女別生徒数

男子：975人 女子：86人

●学校の規模・環境

敷地面積： 40,414m²

延べ床面積： 28,796m²

築年数： 20年（2004年3月完成）

校舎： 1～5号館

（2号館は神戸工科高校の校舎）

環境： ・灘駅から徒歩圏内の交通至便地に位置し、広域から通学可能

その他施設：PC室（600台）、各種実習室、多目的ルーム、トレーニングルーム、風力発電、太陽光発電、屋上庭園、屋上緑化、先端技術設備（レーザー加工機、電子顕微鏡）

2. 科学技術高校②

スクールポリシー

○ 科技高ブランド…未来志向型エンジニアの育成

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー:GP)

未来志向型エンジニア ①専門的知識と確かな技術の習得 ②豊かな人間性 ③地域産業を担う人材

機械工学科…………… 機械の設計から製造の技術・技能を身につけ、ITやデジタル技術の活用ができ、科学技術の探求心と国際的な視野を兼ね備えたDX人材

電気情報工学科…………… 工学の基礎となる電気・情報系の基礎的な知識・技能を備え、AI/IoT 時代に必要な知識・技術を自主的・積極的に開拓しようとする姿勢を身につけた技術者

都市工学科…………… 高度なIT化が進む土木・建築業界を支える専門性に加え、災害からまちをまもる知識とリーダーシップを発揮し、主体的・積極的に行動できる技術者

科学工学科…………… 専門高校の実験・実習・課題研究で培った理工学的知識・技能・センスを活かし、卒業後も継続して知的好奇心を持ち、目標に向かって自ら能動的に学び、努力し続ける人材

↑ 夢の実現

○ 教育の方針(カリキュラムポリシー:CP)

①ものづくり教育×IT ②ものづくりの実践的・体験的な学習 ③課題解決力の育成 ④ヒューマンスキルの向上

↑ ●ものをつくる喜び ●科学する心 ●未来を拓く力

○ 入学生に求める生徒像(アドミッション・ポリシー:AP)

「好奇心」「探求心」「公德心」「3心」を持つ生徒

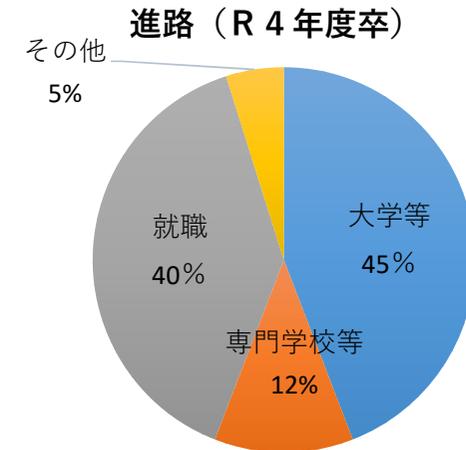
2. 科学技術高校③

特色

- ・ 未来志向型エンジニアの育成
- ・ 地元企業や大学、高専との連携
- ・ 専門的なキャリアプログラム
- ・ 実践的かつ体験的な学習

特徴的な取組

- ・ 「KOBE S・M・A・R・T Engineers 育成事業」
- ・ スポーツ支援振興センターによる部活動支援



カリキュラムの特長

- ・ 機械工学科では、最新型機器を専用ソフトウェアを活用して実習ができる。(国内唯一)
- ・ 電気情報工学科では、電気・電子・通信・情報を総合的に学習できる。
- ・ 都市工学科では、1年生で建築・土木の基礎を学び、2年生よりいずれかを専門的に学ぶ。
- ・ 科学工学科は進学型の専門学科で、理数分野を広く学習し、2年生で「理数科学類型」とスポーツ科学類型」に分かれる。
- ・ 阪神・淡路大震災の教訓を引継ぐため、全国初の防災士養成の授業を開始(2018年4月)

進路実績 (学校案内より)

- ・ 愛媛大、香川大、北見工業大、京都教育大、関西学院大、関西大、立命館大 ほか
- ・ 大阪ガス(株)、川崎重工(株)、関西電力(株)、(株)神戸製鋼 ほか

3. 葺合高校

●沿革

- 1949年 葺合高校（普通科・商業科）設置
- 1951年 商業科文理（→神戸商業高校）
- 1986年 英語科設置→2001年国際科に改編
- 2012年～2016年 校舎施設の現地全面建替え

●設置学科

普通科、国際科

●募集定員

普通科280人 国際科80人

●在籍生徒数（2023年4月1日現在）

	1 学年	2 学年	3 学年	合計
生徒数	362	352	346	1,060
学級数	9	9	9	27

男女別生徒数

男子：386人

女子：674人

●学校の規模・環境

敷地面積： 24,248㎡

延べ床面積： 14,191㎡

築年数： 10年（2013年12月完成）

校舎： 本館（全普通教室と特別教室の多くを設置）
北館、国際交流棟

環境： ・校舎は新しく、過ごしやすい

その他施設：CALL教室（4）、日本文化室、
大ホール（約400人収容）

3. 葺合高校②

スクールポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

- ・Neo MAKS (Neo:未来に向かう力、Mind:知性と結びついた心、Attitude:社会貢献の姿勢、Knowledge:豊かな知識、Skills:学びの活用)を身に付けた葺高生

○カリキュラム・ポリシー

- ・日本や世界についての幅広い知識を身に付け、「課題発見能力」「課題解決能力」を育む

○アドミッション・ポリシー

- ・自ら考え、自ら学ぶ意欲を持っている生徒
- ・自ら律し、自ら努める態度を取ろうとする生徒
- ・自ら選び、自ら進む方向を見出そうとする生徒

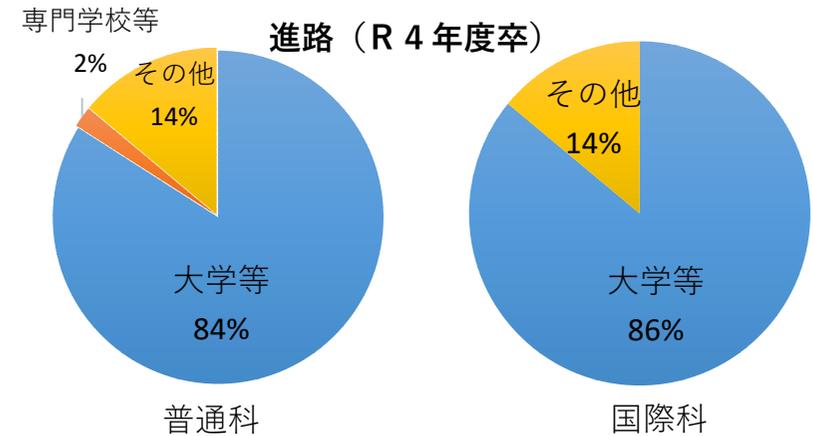
3. 葺合高校③

特色

- ・ 普通科の他に国際科を設置
- ・ 5カ国9校の海外姉妹校等との国際交流
- ・ 国際理解や課題解決力を育てる多様な専門科目
- ・ 7人の外国人講師が常勤

特徴的な取組

- ・ 「KOBE AL ネットワーク事業」拠点校
- ・ 第2外国語（スペイン語・中国語）



カリキュラムの特長

- ・ 普通科では、2年生から文系・英語系・理系の3つに分かれ、進路に応じた学習に取り組む。
- ・ 英語系の選択科目「学際リサーチ」では、新しい価値観を創造する力を養う。
- ・ 国際理解や課題解決力を育てる多様な専門科目
- ・ 国際科では、国際理解を深める専門教科「国際」、課題解決力を養う「グローバルスタディーズ」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指している。

進路実績（学校案内より）

- ・ 兵庫県立大、神戸市外大、東京外国語大、大阪教育大、大阪公立大、筑波大、大阪大 ほか
- ・ 近畿大、武庫川女子大、関西学院大、関西大、同志社大、関西外国語大、兵庫医科大 ほか

4. 神港橘高校

●沿革

2016年 兵庫商業高校と神港高校を再編・統合し開校（旧神港高校敷地内に新築）

●設置学科

みらい商学科

●募集定員

320人（8学級）

●在籍生徒数（2023年4月1日現在）

	1学年	2学年	3学年	合計
生徒数	321	317	308	946
学級数	8	8	8	27

男女別生徒数

男子：270人

女子：676人

●学校の規模・環境

敷地面積： 18,396㎡

延べ床面積：17,398㎡

押部谷栄に第2グラウンド保有

築年数： 8年（2016年7月完成）

校舎： 北棟（6階建て）、南棟（5階建て）
体育館棟（3階建て）、
体育館管理棟（4階建て）

環境： ・校舎敷地が綺麗で駅から近い

その他施設：PCルーム（7）、総合実践室
トレーニングルーム、CALL教室

4. 神港橋高校②

スクールポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

- ・自律した生活を営む力 (Management)
- ・情報処理に関する知識・技能 (Information)
- ・マーケティングに関する知識・技能 (Research)
- ・簿記・会計に関する知識・技能 (Account)
- ・新しい発想で考える力 (Innovation)

○カリキュラム・ポリシー

- ・モラルジレンマ (Moral Dilemma): 課題解決型道徳教育
- ・インターンシップ (Internship): 短期型・通年型就労体験
- ・地域連携・協働 (Regional Cooperation): 橋タウンミーティングなど地域の取組に参画
- ・探究活動 (Active Learning): 神戸ディスカバー、橋プロジェクトなど
- ・企業連携 (Industry-School Collaboration): 地元企業と連携した商業教育

○アドミッション・ポリシー

- ・寛容な心と態度を備えた人 (Moral)
- ・豊かな国際性を備えた人 (International)
- ・人間関係構築力を備えた人 (Relation)
- ・進取の意気を備えた人 (Action)
- ・深い知性と品格を備えた人 (Intelligence)

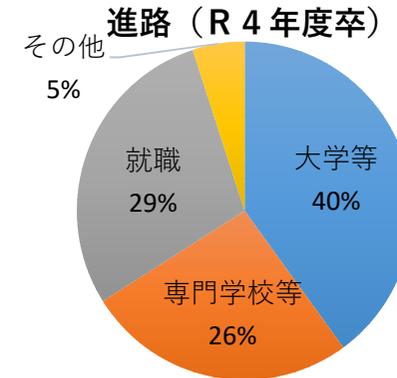
4. 神港橋高校③

特色

- ・ 多様な選択科目による専門性の高い授業
- ・ 地元企業と連携した商業教育
- ・ 特色部「龍獅團」

特徴的な取組

- ・ 通年型インターンシップ等の課題解決型学習
- ・ みらいサポートセンターの設置



カリキュラムの特長

- ・ 全学年において、毎朝10分間の「Lタイム」に学校設定教科「リテラシー」を設定し、学びの基礎を徹底して習得する。
- ・ 2年生では、「会計類型」と「情報類型」に分かれ、高い専門性の育成を図る。
- ・ 3年生では、多様な選択科目（例：ビジネス情報管理）を配置し、希望する進路の実現を図る。
- ・ 総合的な探究の時間を中心に、系統的な道德教育を展開し、「人間力」の育成を図る。

進路実績（学校案内より）

- ・ 名桜大、同志社大、関西大、近畿大、甲南大、大阪経済大、関西外国語大 ほか
- ・ 西日本旅客鉄道（株）、阪急電鉄（株）、阪神電気鉄道（株）、陸上自衛隊 ほか
- ・ 大阪医専、大阪警察病院看護専門学校、神戸市医師会看護専門学校 ほか

5. 須磨翔風高校

●沿革

2009年 須磨高校と神戸西高校を再編・統合し
開校（旧神戸工業高校跡地に新築）

●設置学科

総合学科（単位制）

●募集定員

280人（7学級）

●在籍生徒数（2023年4月1日現在）

	1年次	2年次	3年次	合計
生徒数	282	275	268	825
学級数	7	7	7	21

男女別生徒数

男子：351人

女子：474人

●学校の規模・環境

敷地面積： 39,320㎡

延べ床面積： 16,066㎡

築年数： 15年（2009年4月完成）

校舎： A～E棟（主に4階建て）

環境： ・校舎敷地が綺麗で規模も大きく、
駅から徒歩圏内で利便性が高い

その他施設： ICT教室（5）、CALL教室（2）、
トレーニングルーム、
キャリアセンター

5. 須磨翔風高校②

スクールポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

・社会や地域で強い意志を持って中心的な役割や活躍ができる生徒。

- ①確かな進路目標を持ち、その実現に努力する生徒。
- ②豊かな知性と実践力を持つ生徒。
- ③社会に参画し、貢献する生徒。
- ④人とのつながりを大切にする生徒。

○カリキュラム・ポリシー

・学校行事・部活動・ボランティア活動をリーダー的存在で実施できる生徒。

- ①総合学科での多様な選択科目の中から情報を収集・整理して、興味関心に則した様々な進路希望に対応するため、意欲的に選択・学習していく生徒の育成を図る。
- ②ICTを活用し、プレゼンテーションや資料作成、コミュニケーション、情報機器の操作方法を学び、様々な知識や技能を習得していく生徒の育成を図る。
- ③進路目標に応じて、幅広い選択科目の中から、自分の将来の目標に応じて一人ひとり独自の2・3年次時間割を作成できる生徒の育成を図る。
- ④キャリア教育を通じて生徒自身が将来「どう生きていくか」ということを考えることができる生徒の育成を図る。

○アドミッション・ポリシー

・自分の夢や希望を持ち、実現に向けた行動や人との係わりを持ち続ける生徒。

- ①向上心を持ち、生徒自身が将来「どう生きていくか」ということを考える生徒。
- ②他者と協働しながら地域や学校活動を進めていきたい生徒。
- ③多様な経験や学びを主体的に取り組んで成長したい生徒。
- ④地域や校内活動等に積極的に参加し、より良い人間関係を築きたい生徒。

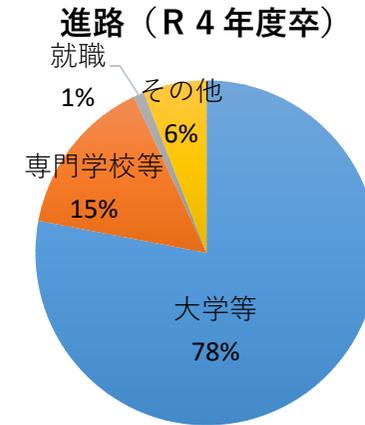
5. 須磨翔風高校③

特色

- ・ 総合学科単位制
- ・ 幅広い選択科目
- ・ 興味関心や進路希望に沿った学習
- ・ 充実したキャリア教育

特徴的な取組

- ・ 3年間の系統的なキャリア教育
- ・ 「キャリアプランニング」「教育」などの特色ある授業



カリキュラムの特長

- ・ 2、3年次に5つの選択科目群「国際・文化」「科学・環境」「福祉・情報」「教育・人間」の100以上の選択科目から自分の進路希望に応じて選択し、自分だけの時間割を作成。
- ・ 学校設定教科「教育科」の「教育入門・体験」「学内教育実習プログラム」「教育問題の理解と発信」がある。
- ・ 「キャリアプランニング」「人間関係」をはじめ、学力向上、近隣の学校園・大学や地域との連携など、多彩な教育の展開。

進路実績（学校案内より）

- ・ 大阪大、大阪教育大、慶應義塾大、早稲田大、武庫川女子大短期大学部 ほか
- ・ 神戸医師会看護専門学校、神戸看護専門学校、兵庫県立総合衛生学院 ほか

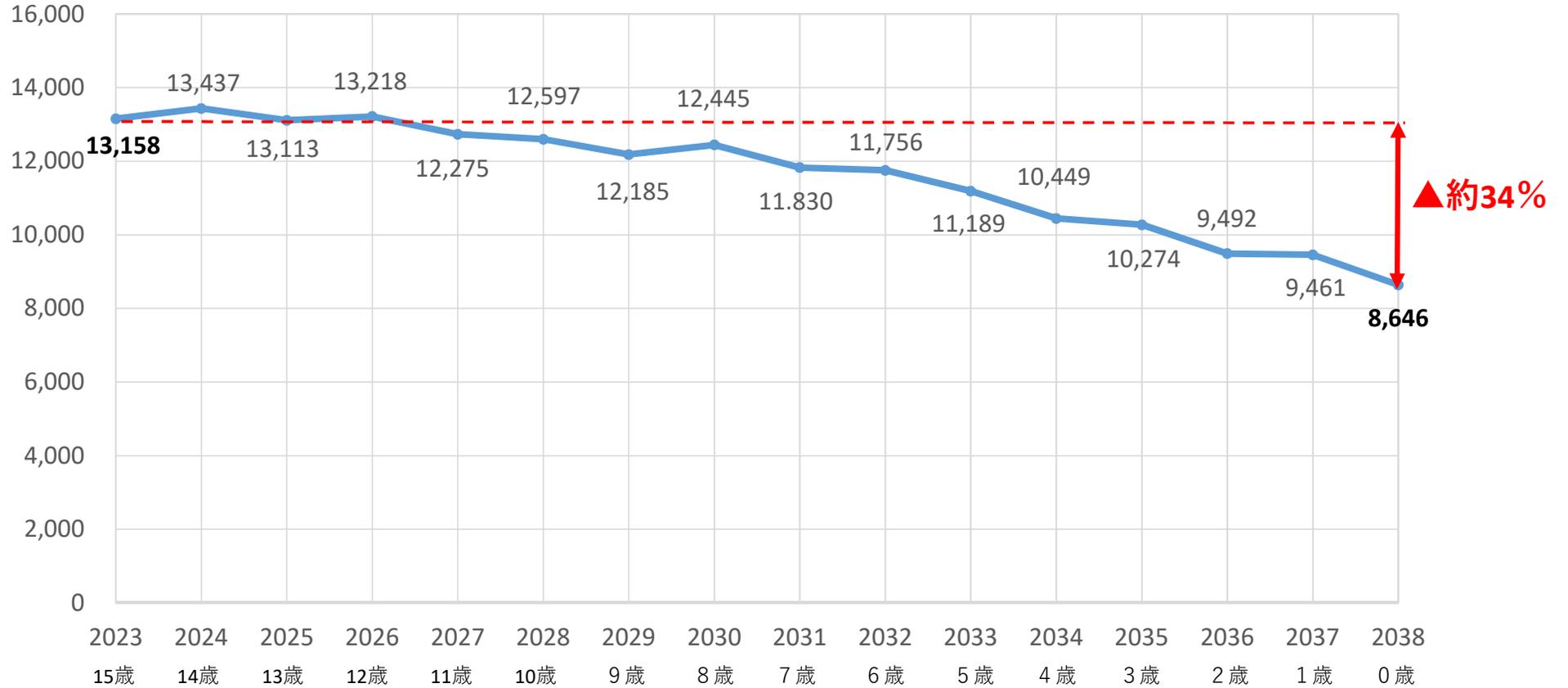
議題 2 高校を取り巻く状況

- I. 少子化の状況
- II. 進路選択満足度、学校生活満足度の低下、
社会参画に関する意識
- III. 国の普通科改革
- IV. 国の第4期教育振興基本計画
- V. 高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ



I. 少子化の状況

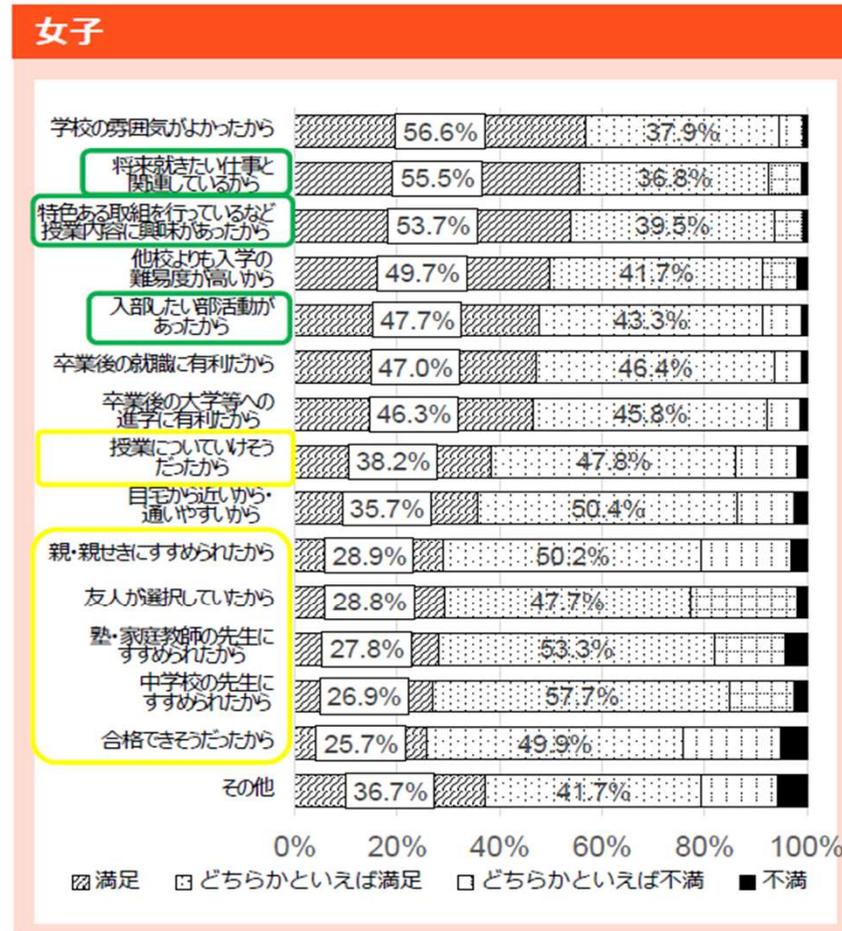
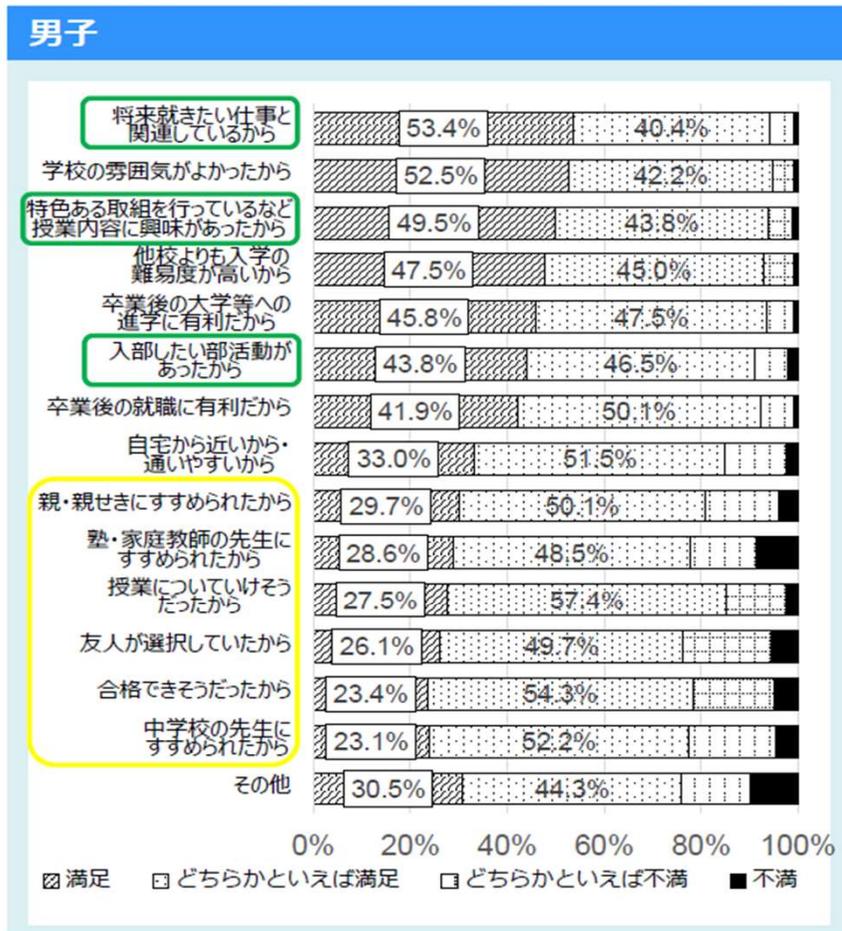
市内15歳人口（見込み）



※住民基本台帳における各年齢人口（2023年4月時点、転出入等の増減を考慮していない）

Ⅱ. 在籍する学校を選択した理由×進路選択の満足度 (縦断調査)

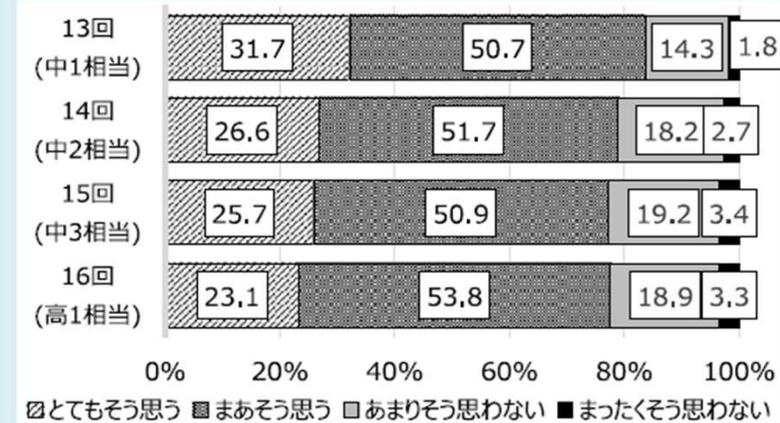
○ 積極的な動機付けにより学校選択を行った者は、進路選択の満足度が高い傾向にある一方で、他者にすすめられた等、他律的な動機付けによる学校選択を行った者は、進路選択の満足度が低い傾向。



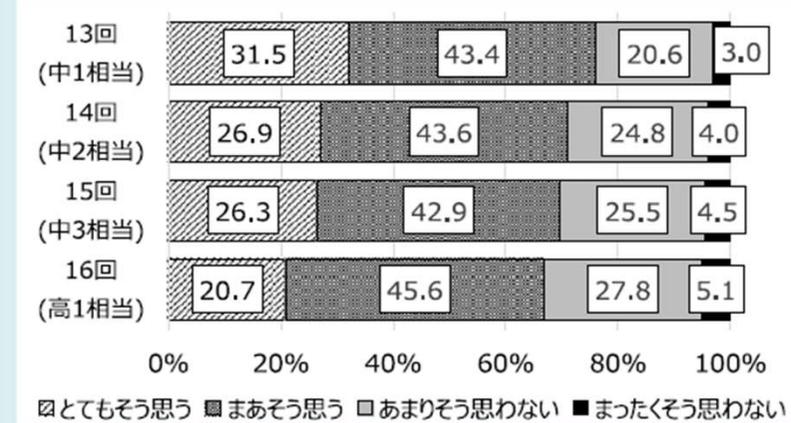
Ⅱ. 学校生活満足度（縦断調査）

○ 学校での学び・授業の満足度・理解度について、学年が上がるとともに低下傾向。

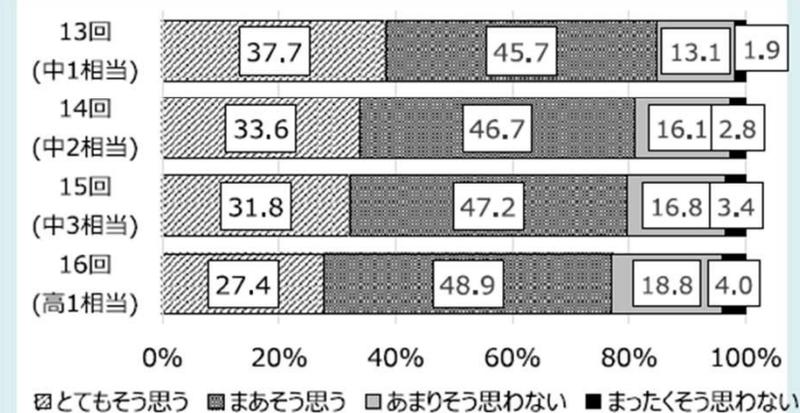
ためになると思える授業がたくさんある



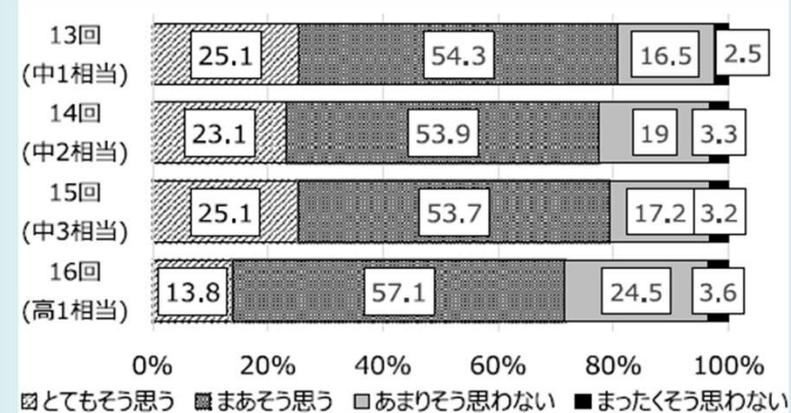
楽しいと思える授業がたくさんある



学校の勉強は将来役に立つと思う



授業の内容をよく理解できている



(出典) 文部科学省・厚生労働省「第16回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」（平成30年9月）

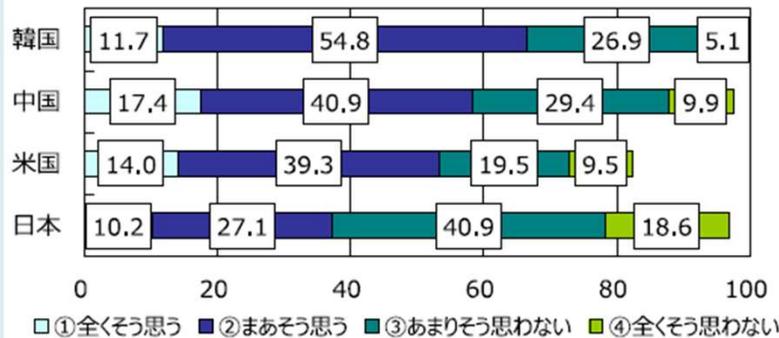
(出典：文部科学省)

Ⅱ. 社会参画に関する意識

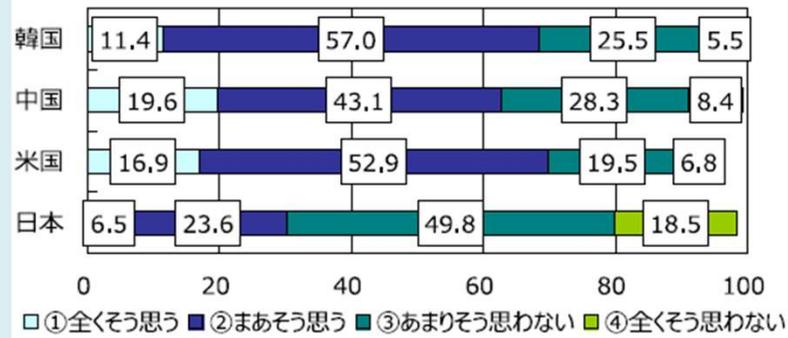
- 他国の生徒に比べ、日本の生徒は、「自らの参加により社会現象が変えられるかもしれない」、「自分で国や社会を変えられると思う」という意識や、「社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している」という割合が低い。

【問】私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない。

中学生



高校生



(出典) (財)一ツ橋文芸教育振興協会, (財)日本青少年研究所「中学生・高校生の生活と意識 -日本・アメリカ・中国・韓国の比較- (2009年2月)」

【問】あなた自身について、お答えください。(※各設問「はい」回答者割合、各国n=1000)

自分で国や社会を変えられると思う



社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している



(出典) 公益財団法人日本財団「18歳意識調査 第46回「国や社会に対する意識 (6カ国調査)」(令和4年3月24日)」(出典: 文部科学省)

Ⅲ. 国の普通科改革

3. (1) 普通科改革等に関する制度改正の概要 (制度改正の背景)

学科数で5割以上、生徒数で7割以上を占める普通科

現状

- ✓ 「普通」の名称から生じる
一斉的・画一的な学びの印象

現状

- ✓ 多くの生徒がいわゆる文系・理系に分かれ、
特定の教科について十分に学習しない傾向

方策

- ✓ 各校のスクール・ミッション等に応じた
特色化・魅力化の推進
 - ✓ 各校の取組の可視化・情報発信の強化
- ↓
- ✓ 当該学科の特色・魅力ある教育内容を表現する名称を学科名とすることを可能化
 - ✓ どのような学科を設置するかについては
現在の国際社会、国家、地域社会を
取り巻く環境や、高校生の多様な実態を
踏まえて各設置者が検討

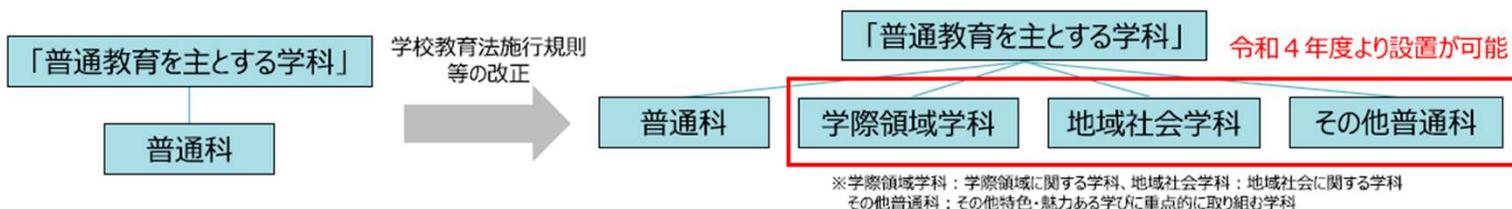
方策

- ✓ 従来の文系・理系の類型分けは
普遍的なものではない
- ↓
- ✓ 一人一人の生徒にとって将来のキャリア形成に必要となる科目の学習の機会が確保されない状況を改め、総合的な探究の時間を軸に教科等横断的な学びに取り組むなど、
生徒が多様な分野の学びに接することができるようにすることが重要

Ⅲ. 国の普通科改革

「普通教育を主とする学科」の弾力化 – 普通科改革の意義・概要

- 普通科には高校生の約7割が在籍する一方で、**生徒の能力・適性や興味・関心等を踏まえた学びの実現に課題がある**との指摘もなされており、「普通」の名称から**一斉的・画一的な学びの印象を持たれやすい**ところ、普通科においても、生徒や地域の実情に応じた**特色・魅力ある教育を実現**する。
- 普通科において特色・魅力ある教育を行うにあたって、従来の文系・理系の類型分けを普遍的なものとして位置付けるのではなく、総合的な探究の時間を軸として、**生徒が社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための多様な分野の学びに接することができるようにする。**



学際領域学科

現代的な諸課題のうち、**SDGsの実現**や**Society5.0の到来に伴う諸課題**に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の**特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

地域社会学科

現代的な諸課題のうち、高等学校が立地する地元自治体を中心とする**地域社会が抱える諸課題**に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した**実践的な特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

その他普通科

その他普通教育として求められる教育内容であって当該高等学校の**スクール・ミッション**に基づく**特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

(参考) 兵庫県立高校における普通科新学科への改編

改編年度	選抜方法	学級数	定員
令和6年	2月(推薦入学)	1学級/学年	40名
対象校	旧コース・学科	新学科	
御影高校	総合人間系コース	文理探究科(学際領域に関する学科)	
八鹿高校	自然科学系コース	文理探究科(学際領域に関する学科)	
柏原高校	自然科学系コース	地域科学探究科(地域社会に関する学科)	
篠山鳳鳴高校	自然科学系コース	STEAM探究科(STEAMに関する学科)	
明石高校	理数探求類型コース	STEAM探究科(STEAMに関する学科)	
豊岡高校	理数科	STEAM探究科(STEAMに関する学科)	
姫路飾西高校	自然科学系コース 国際文化系コース	STEAM探究科(STEAMに関する学科)	

IV. (国) 第4期教育振興基本計画 (概要)

新たな教育振興基本計画【概要】(令和5年度～9年度)

我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・子ども基本法 等

▶ 教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す羅針盤となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う営み

第3期計画期間中の成果

- ・(初等中等教育) 国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善
- ・(高等教育) 教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備
- ・(学校段階横断) 教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化 等

第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
- ・不登校・いじめ重大事態等の増加
- ・学校の長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・博士課程進学率の低さ 等

次期計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて**自らが社会の創り手**となり、課題解決などを通じて、**持続可能な社会**を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けて**イノベーション**につなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、**活力ある社会の実現**に向けて「**人への投資**」が必要
- ・**Society5.0**で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上

- ・多様な個人それぞれが**幸せや生きがい**を感じるとともに、**地域や社会が幸せや豊かさ**を感じられるものとなるための教育の在り方
- ・幸福感、**学校や地域でのつながり**、利他性、協働性、**自己肯定感**、自己実現等が含まれ、協動的幸福と獲得的幸福のバランスを重視
- ・**日本発の調和と協調**（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

今後の教育政策に関する基本的な方針

①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に社会の形成に参画、持続的社会的発展に寄与
- ・「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善、大学教育の質保証
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で**留学等国際交流**や大学等国際化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・**リカレント教育**を通じた高度人材育成

②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による**多様な教育ニーズへの対応**
 - ・支援を必要とする子供の**長所・強みに着目**する視点の重視、**地域社会の国際化**への対応、**多様性、公平・公正、包摂性**（DE&I）ある**共生社会の実現**に向けた教育を推進
 - ・**ICT等の活用**による学び・交流機会、アクセシビリティの向上
- 人生100年時代に複線化する生涯にわたって**学び続ける**学習者

③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・**持続的な地域コミュニティの基盤形成**に向けて、**公民館等の社会教育施設の機能強化**や**社会教育人材**の養成と活躍機会の拡充
- ・**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**、家庭教育支援の充実による**学校・家庭・地域の連携強化**
- ・**生涯学習**を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、**当事者として地域社会の担い手**となる

④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

DXに至る3段階（電子化→最適化→新たな価値(DX)）において、第3段階を見据えた、**第1段階から第2段階への移行**の着実な推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進

教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、**教育データの分析・利活用**の推進

デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進、**ICT環境の整備**、経済状況等によらない**学び確保**

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

V. 高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ

— 具体的方策の主体別整理より — (令和5年8月)

項目	学校・設置者等による具体的方策
普通科改革の推進、コーディネーターの配置支援	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関等との連携協力体制の構築やコーディネーターの配置の充実を図りつつ、探究的な学び・STEAM教育等の文理横断的な学び・実践的な学びの展開 ○普通科改革の検討を含め、高校の特色化・魅力化を推進
国際的な教育を行う高等学校の整備推進・運営支援	<p>(グローバル人材育成に資する拠点校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国内外の大学等との連携により文理横断的な知を結集し、社会課題の解決や学術的な問いに向き合う探究的な学びを展開
理数系教育の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の成果を参考にしつつ、高等学校段階における生徒の理数系教育への興味・関心の一層の向上に向けて必要な取組を実施
産業界等と専門高校の連携・協働の強化	<p>(専門高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業等の外部の方が学校運営に参画し、教育界と産業界等をつなぐ役割を持った人材が伴走しながら、協働して社会に開かれた教育課程を実現する取組を展開
学校と地域社会の連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動推進員の配置等により、家庭や地域、企業等の関係機関と連携・協働した教育活動を展開

(引用：文部科学省)

VI. (県) 教育基本計画 (概要)

第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」【概要版】

計画の性格 教育基本法に基づく計画（基本計画条例に基づき H31. 2 県議会上程）

計画の期間 2019（平成 31）年度～2023 年度の 5 年間

第1部 本県教育の成果と課題 第2期プランの検証

第2部 社会情勢・教育環境の変化

人口減少社会の到来、グローバル化の進展、ICTによる技術革新の進展、働き方改革 等

- 持続可能な社会の実現を目指し、地域の活力を維持・向上させるには、一人一人が社会の担い手として活躍することが求められており、社会的自立に必要な能力や態度を育成することが必要
- 子どもたちにチャレンジ精神や創造性、コミュニケーション能力等、グローバル社会を生き抜くための力を身に付けさせ、国際社会で主体的に活動するための力を育成することが必要
- 高度に情報化していく社会に主体的に対応するため、ICT等の新しい技術を活用した教育の環境整備を推進し、情報活用能力を育成することが必要
- ワーク・ライフ・バランスの考え方に立ち、学校においては組織体制や業務内容を見直すとともに、専門スタッフ等の外部人材との連携を含めた教職員の「働き方改革」を進めることが必要

第3部 兵庫の教育のめざす姿

1 基本理念

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり

第3期重点テーマ - 「未来への道を切り拓く力」の育成-

2 「めざす人間像」と「育み培う心、力、態度」

【めざす人間像】

- 人生 100 年を通じて知・徳・体の調和がとれ、自らの夢や志の実現に努力する人
- ふるさとを愛し、共に支え合いながら、明日の兵庫を切り拓き、日本の未来を担う人
- 日本の伝統と文化を基盤として、創造力と多様な人々との共生の心を持ち、国内外で活動する人

【育み培う心、力、態度】

- **自立する人として**
 - ・ 生命（いのち）を尊び、自然を大切にす
 - ・ 健やかな身体を育み、豊かな情操と道徳心をもつ
 - ・ 幅広い知識と教養を身に付け、生涯にわたって個性や資質・能力を伸ばす
 - ・ 思いやりや寛容の心を持ち、人権を尊重する
 - ・ 失敗を恐れず、困難や逆境に立ち向かう
- **社会で活動する人として**
 - ・ 基本的なルールを遵守し、役割や責任をもってよりよい社会づくりに向けて主体的に行動する
 - ・ 周囲とコミュニケーションを図りながら問題を発見し、創造的に解決する
 - ・ 他者を尊重するとともに、異なる文化や価値観を理解し、多様な人々と共生する
- **ひょうご人（ふるさに誇りを持ち、多様な人々と協働して五国を支える人）として**
 - ・ 震災の教訓を踏まえ、地域に学び、地域を担い、ふるさと兵庫の発展に取り組む
 - ・ 兵庫が有する多様な伝統や芸術・文化を尊重し、ふるさと兵庫や日本を愛する
 - ・ 国際社会の平和や発展に向けて、次代の兵庫、日本、世界を舞台に活動する

3 各主体の責任と役割

- (1) **教育行政機関（県及び県教育委員会、市町及び市町組合教育委員会）**
 - ・ 教育行政機関は、学校・家庭・地域等の教育の主体と連携・協力するとともに、その主体を支援する。また、子どもたちの現状と課題を把握し、適切かつ実効性のある施策を遂行する。
 - ・ 各主体は、相互に緊密な連携を図り、本計画の実現に向けそれぞれが担う教育施策を円滑に遂行するとともに、学校や教職員等に必要な支援や指導・助言を行い、教職員が教育活動に専念できるよう支援する。
- (2) **学校、教職員、社会教育施設**
 - ・ 学校は、子どもたちの人格の完成をめざし、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を行う。
 - ・ 教職員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、高い倫理観をもって職責の遂行に努める。
 - ・ 社会教育施設は、学習内容や学習機会の充実等社会教育の振興に取り組む。
- (3) **家庭（保護者）**
 - ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、道徳心や自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図る。また、家庭（保護者）同士の交流や協働を通じて、子どもの育ちを豊かにする。
- (4) **地域（地域住民）**
 - ・ 多様化する家庭環境を踏まえ家庭教育を支えるとともに、家庭や学校と連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動に取り組む。
- (5) **県民**
 - ・ 生活の質の向上に加え、地域社会の担い手として常に自ら研鑽に励む。

4 基本方針

※計画期間において重点的に取り組みたい内容を「第3期プランの重点」として位置づける。

1 「生きる力」を育む教育の推進

子どもたちの発達段階や多様なニーズを踏まえて、新学習指導要領に基づき、幼児教育から高等教育までの各学校教育段階の接続を重視しながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成する。加えて、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育、障害の有無等に問われないインクルーシブ教育システムの構築を図る特別支援教育を含め、総合的に「生きる力」を育む。

- 「確かな学力」の育成
- 「豊かな心」の育成
- 「健やかな体」の育成
- 兵庫型「キャリア教育」の推進
- 特別支援教育の推進
- 幼児期の教育の充実
- 高等教育（大学）の推進

【『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の推進』をはじめとする 19 の重点取組を設定

2 子どもたちの学びを支える環境の充実

子どもたちの多様な学びに対応するための教職員一人一人の資質向上及び働き方改革はもとより、いじめ、不登校等の課題について、校長のリーダーシップのもと学校全体で取り組む組織づくりとともに、安全・安心で質の高い教育環境の整備、ICT環境の充実、多様化する県民のニーズに応じた、兵庫の公教育の一翼を担う私学教育の振興を図る。加えて、子どもが安心できる家庭教育に関する環境づくり、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを支援し、学校・家庭・地域が連携・協働した社会総掛かりの教育を推進する。

- 教職員の資質・能力の向上
- 学校の組織力の強化
- 修学環境の整備・充実
- 私学教育の振興
- 家庭と地域による学校と連携した教育の推進

「兵庫県教員・管理職資質向上指標等」を活用した研修の充実」をはじめとする 10 の重点取組を設定

3 人生 100 年を通じた学びの推進

県民一人一人がその生涯を通じて、必要な知識や技能、技術を学び、活用し、知的・人的ネットワークを構築し、人生の可能性を広げて新たなステージで活躍するというサイクルを実現し、人生を豊かに生きられる環境を整備する。また、地域創生を図るとともに、それぞれの個人がそのよりどころとする「ふるさと」を知り、その文化を次代につなぐ。加えて、県民一人一人が人生を健康にいきいきと過ごすスポーツ環境づくりに努める。

- 主体的に生きるための学びと場の充実
- 文化財等地域資産の活用
- 「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進

「ライフステージに応じた学びの充実」をはじめとする 4 つの重点取組を設定

議題 3 検討の視点

I. これまでの取組

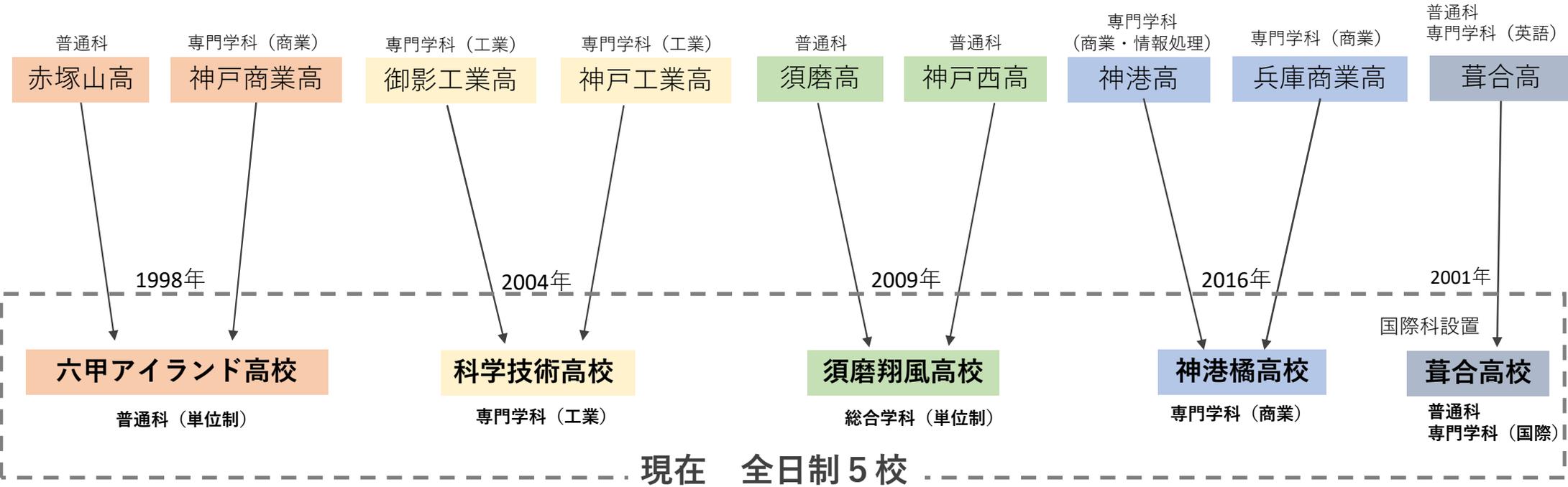
II. 検討の視点



I. これまでの取組

1) 市立高校の再編

1994年時点 全日制 9校



I. これまでの取組

2) 有識者会議等の報告書・提言・まとめ（要旨）

(1) 【神戸市】神戸市教育懇話会報告「神戸市立高等学校の将来を考える」（平成6年4月）

当時の少子化・情報化など社会情勢の大きな変化が予測される21世紀に向けて、望ましい市立高等学校の将来像を検討し、市立高校の改善の具体的方策として、4つのタイプの魅力ある高等学校教育像を示した。

(2) 【神戸市】第3期神戸市教育振興基本計画（令和2年～令和5年）

少子高齢化、技術革新・グローバル化の進展など時代の流れを見据え、全日制高校における魅力・特色づくりの推進や、学びの多様化に応じた定時制教育の充実を視野に、特色ある高校教育の推進を図る。

(3) 【神戸市】少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する提言（令和2年2月）

参考資料参照

グローバル化の進展や、AI・IoTといったテクノロジーの更なる進歩など、社会が急速に変化し続けていく一方、今後も少子化による若者数の減少が見込まれる中、特色化や適正規模・適正配置といった神戸市域の高校生の教育環境の充実に向けて、今後神戸市に望む取組の方向性を示した。

I. これまでの取組

(4) 【兵庫県】ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会（令和3年3月）

全国的にも少子高齢化が進む中、これまでの兵庫県教育委員会や兵庫県立高校の取組の評価・検証を行い、現在の高校教育を取り巻く現状や課題を整理した上で、公立私立を問わず様々な観点から、これからの時代に求められる高校教育や県立高校改革の方向性と望ましい規模と配置、入試制度の検証といった高校教育のあり方について方向性を示した。

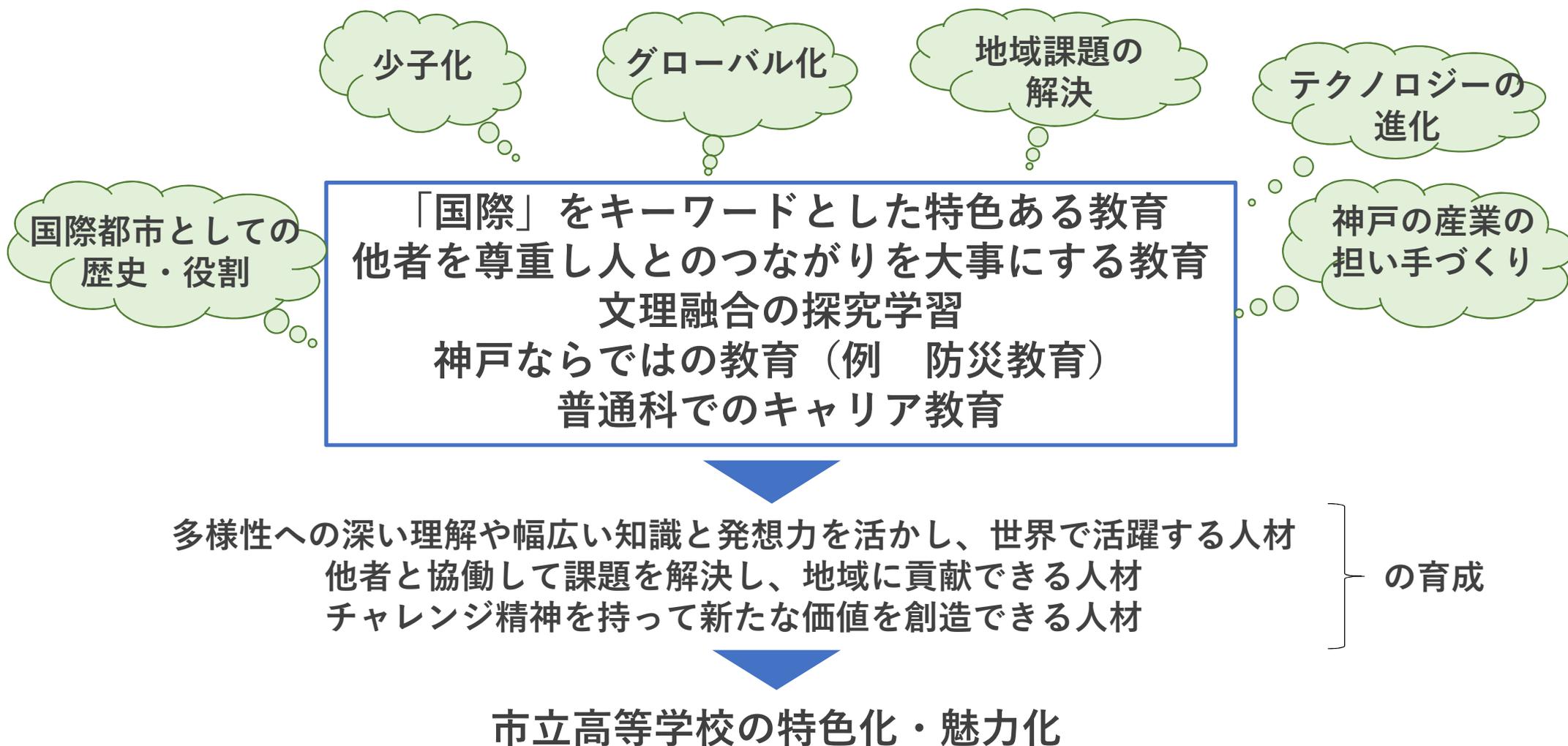
(5) 【兵庫県】兵庫県立高等学校教育改革第三次実施計画（令和4年3月）

県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置を示し、望ましい規模となるよう、原則、発展的統合によりその規模を確保し、配置を検討する。

(6) 【国】高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ（令和5年8月）

これからの高校教育のあり方を検討し、高校において「令和の日本型学校教育」を構築するため、①「高校教育のあり方（「多様性」と「共通性」の観点からの検討）、②少子化が加速する地域における高校教育のあり方、③全日制・定時制・通信制の望ましいあり方、④社会に開かれた教育課程の実現、探究・文理横断・実践的な学びの推進、について議論を重ねている。速やかに取組むべきと考えられるものについては、その具体的方策を示した。

Ⅱ. 検討の視点



第2回有識者会議について

日時 : 令和6年3月中旬～下旬

テーマ : 第1回会議において整理された「検討の視点」の掘りを通じて、育てたい人材像及び必要な教育内容やカリキュラムを整理する。

